

スタッフクレジット

作・演出 | 高嶺 格

出演 |

今井佳子

太田有香(劇団ひまわり)

小林なるみ(劇団回帰線)

紺野 香

佐々木順子

竹内理佳

田中雪葉(劇団ひまわり)

富田哲司

野澤璃華

藤野里香(劇団新劇場)

堀 慎太郎

牧野 穂乃香(劇団ひまわり)

吉田ゆかり

脇田 唯

ドラマトック | 吉成秀夫、マユンキキ

テクニカルディレクション | 岩田拓朗

舞台監督 | 上田 知

照明 | 相馬寛之

音響 | 佐々木 忠

テクニカルコーディネーション | 山田大揮、柴田真央

技術協力 | 札幌市民交流プラザ 舞台技術課、(株)北海道ステージアートアライアンス

ハードウェア設計／制作 | 船戸大輔、日下貴詞(アートフル)、榎本勝美(榎本電子設計事務所)

衣裳スタイリング | MARk design office inc.

宣伝美術 | 堤 拓也

映像記録 | 常松英史

スチール | 小菅謙三

コーディネーション | 小山冴子、丸田鞠衣絵

製作 | 札幌文化芸術劇場 hitaru、札幌文化芸術交流センター SCARTS(札幌市芸術文化財団)

謝辞 | 木村剛士、進藤冬華、細川健裕(北海道開拓の村)

アンケートにご協力をお願いいたします。



THE UNWELCOMED HOKKAIDO VERSION | TADASU TAKAMINE

歓迎されざる者

高嶺格 | 北海道バージョン

会期 || 2021年8月27日^金 — ~~28日~~ ^{29日}まで!

会場 || クリエイティブスタジオ | 札幌市民交流プラザ3F

時間 || 平日14:00—19:00 ^{8月27日[金]のみ}_{17:00—19:00} | 土日11:00—19:00 ^{最終入場}_{18:30}

入場無料 | 開催時間中の入退場自由

主催 || 札幌文化芸術劇場 hitaru、札幌文化芸術交流センター SCARTS (札幌市芸術文化財団)

助成 || 文化庁文化芸術振興費補助金 | 劇場・音楽堂等機能強化推進事業 | 独立行政法人日本芸術文化振興会 

後援 || 札幌市、札幌市教育委員会

協力 || 札幌国際芸術祭実行委員会、さっぽろ天神山アートスタジオ、書肆吉成

ごあいさつ

高嶺格「歓迎されざる者～北海道バージョン」を開催いたします。

造形美術、映像、パフォーマンス、そして舞台演出まで、多彩な表現形態による作品を発表している美術家・演出家の高嶺格は、社会の中で見えなくなっているさまざまな問題を、自身の個人的な体験や身体的感覚にひきつけ、向き合っていることで作品を生み出してきました。支配的な社会のシステムに対して、個人として立ちつづけること。それが高嶺の制作の原点だといえます。

本展は、2018年に発表された作品「歓迎されざる者」を、札幌でのリサーチや会場での実験等を経て大幅にアップデートしたものです。作品を再構築するにあたり、高嶺はこの作品のテーマに改めて向き合い、「歓迎されざる者」をキーワードに、社会に存在するさまざまな状況を考察しました。また、そこから見出された事象をもとに、北海道の文学にも詳しい吉成秀夫氏の協力を得て、朗読されるテキストを検討しました。これらのテキストはいずれも、時代や社会と向き合いながら、個人として紡がれた言葉です。波紋の揺らぐ空間の中での朗読は、観客の中にどのようなイメージを呼び起こすのでしょうか。

あらゆることが急速に変化し、社会全体が揺れ動いている現在、わたしたちの周りにはさまざまな情報や言説が溢れています。それはときに軋轢を生み、人々を翻弄しているように見受けられます。このような状況の中で、個人としての言葉や態度に立ち戻り、他者を想像する本作をご紹介しますことは大変有意義なことだと確信し、本展を開催します。

最後になりましたが、多大なるご尽力をいただきました高嶺格氏、本展の実現にご支援、ご協力を賜りましたみなさまに、厚く御礼を申し上げます。

札幌文化芸術劇場 hitaru
札幌文化芸術交流センター SCARTS
(公益財団法人 札幌市芸術文化財団)

注意事項



会場内ではお静かにお願いします。



作品や壁面にはお手を触れないでください。
※一部、手袋をつけてお通りいただく通路がございます。



写真・動画の撮影はご遠慮ください。



携帯電話の着信音が鳴らないよう、設定の変更をお願いします。



飲食はご遠慮ください。

朗読作品

浅野明信 「魚の表情」

麻生直子 「風祀り」

石川啄木 「ココアのひと匙」

伊藤 整 「海の捨児」「十一月 一村のある家でー」

江原光太 「五月祭」

風山瑕生 「讃歌・母の腰」

河邨文一郎 「オホーツク」

くぼたのぞみ「サカジャウエアたち」「ことばの種子を蒔く」

更科源蔵 「怒るオホーツク」「祈り」「帰郷」「熊」「古潭記録」「国境」「焚火」「檜松」「炭坑暮色」

管 啓次郎 「Agend'Ars 16」

中城ふみ子 「乳房喪失」

中野重治 「北見の海岸」

中村和恵 「さみどり」「邪鬼の分け前」

長屋のり子 「月夜の葡萄」

二条千河 「ユートピアン」「Universe」「服喪」

宮沢賢治 「(ながれたり)」

向井豊昭 「友だち」

森竹竹市 「位牌」

山田亮太 「おやすみなさい」

山田 航 「長歌 はじめて恋人ができたきみに贈る歌」「水に沈む羊」

吉増剛造 「初湯」「石狩シーツ」(一部)

明治期の流行り歌 「監獄節(バッサバサ節)」

ー

ソンスinema社(カザフスタン)製作「最終段階にて」1992年 日本語字幕より

ロシア語原文 | ラウレンティ・ソン 日本語訳:岡田一男(東京シネマ新社)

掲出テキスト

砂沢クラ『私の一代の思い出ークスクップオルシベ』より

“コタンチラおじさんが山で和人に殺される。そのあたり”

音源提供

ムックル | レッポ(MAREWREW / APETUNPE)

ディジリドゥ | Poloe Derevo “Didgeridoo D# -sound sample”

流水の音 | 東京シネマ新社製作「日本の音風景100選から 北海道編5話」1998年より

会場図面

